



資源・エンジニアリング事業部門

売上高

△2.0%

642億円

経常利益

△35.6%

30億円

経常利益率

△2.5 points

4.7%

2010年度の概況

資源・エンジニアリング事業部門では、大型還元鉄プラントを受注したことなどから、2010年度の受注高は、2009年度を上回りました。

この結果、2010年度の受注高は、2009年度比87.0%増の753億円となり、2010年度末の受注残高は、956億円となりました。

2010年度の売上高は、2009年度並の642億円となりましたが、経常利益は、2009年度と比べ売上案件の構成が異なったことから、16億円減益の30億円となりました。

	億円		増減率
	2009年度	2010年度	
売上高	655	642	△2.0%
経常利益	47	30	△35.6%

TOPICS

インド/SAIL社との包括的MOU締結

当社とインドの国営製鉄会社SAIL社は、成長著しく、かつ今後とも発展が期待されるインドならびにその他の地域における鉄鋼業および鉄鋼関連事業において、両社が相互に便益を享受できる関係を構築すべく、協力・協業できる技術・プロジェクト等を共同で検討することに合意し、2010年11月、包括的MOU(覚書)に調印をしました。

当社とSAIL社は既に当社が保有するITmk3®技術を活用した共同事業について事業化検討を進めています。今回は、この関係をさらに発展させることが両社にとって望ましいとの共通認識のもと、包括的な関係構築についてMOUを締結するとともに、両社にて協力・協業を進めていく製品・技術・プロジェクトについて検討を進めることとしました。

SAIL社はインド最大の鉄鋼会社であり、かつ自社にて多くの鉄鉱山、石炭鉱山を保有しています。一方、当社は高付加価値鉄鋼製品製造技術のみならず、鉄鋼原料処理や鉄源分野においても世界有数の技術を保有しており(例:ペレット、還元鉄、ITmk3®等)、

両社は上工程から下工程に至るまで幅広い分野で協力関係を構築し、拡大するインドならびに世界市場にて相互に便益を享受できるものと考えます。

バーレーン/SULB社向け大型直接還元鉄プラント受注

当社は、バーレーン国のSULB社から、年産能力150万トンの天然ガススペース直接還元鉄プラントを受注、契約発行しました。契約形態はフルターンキー契約で、設計から機器調達、工事やプラントの立ち上げまでの全工程を当社が請け負います。

当社参画の韓国初 新交通システム営業運転開始

当社が参画した韓国初の新交通システム、釜山都市鉄道4号線が2011年3月に開業し、営業運転を開始しました。

この新交通システムは、ゴムタイヤ式の無人運転方式で、韓国の軽量電鉄開発プロジェクト(K-AGT)*の実用化第一号案件として、韓国において注目されています。

当社は、この路線のシステムエンジニアリングの担当として、システム全般の取りまとめ、および新交通システムの要である、信号設備納入から操業指導までを行い、釜山市内の渋滞緩和や居住者の利便性向上等に寄与しています。

*軽量電鉄開発プロジェクト(K-AGT)
韓国における無人運転方式による新交通システムの国産化開発プロジェクト
(K-AGT:KOREA AUTOMATED
GUIDEWAY TRANSIT)

